



2024年7月23日

各位

会社名 F I G 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 村井 雄司  
(コード：4392 東証プライム 福証)  
問合せ先 取締役常務執行役員 岐部 和久  
(TEL. 097-576-8730)

## 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の第2四半期連結累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2024年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正（2024年1月1日～2024年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	6,800	300	283	417	13円82銭
今回修正予想（B）	5,862	270	268	295	9円77銭
増減額（B－A）	△937	△29	△14	△121	－
増減率（％）	△13.8	△9.8	△5.1	△29.2	－
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期)	7,004	469	478	342	11円38銭

#### 2. 修正の理由

当期の業績は、上半期に半導体市場の在庫調整が影響し、下半期に伸長することを予想しております。

メインであるIoTセグメントは、IP無線やモビリティ関連サービス・ペイメントサービスを中心に堅調に推移しましたが、ホテル関連サービスが苦戦をしております。また、マシーンセグメントの半導体製造装置関連については、昨年の過剰在庫からの需要回復が当初想定よりも遅れており、需給バランスは徐々に改善して回復の兆しが見え始めたものの、顧客先毎にその市況感はまだら模様であり、売上高が前回予想を下回りました。

また、利益面においても、仕入コスト削減の寄与があったものの、売上高未達と法人税等調整額等の影響により前回予想を下回る見込みです。

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降に半導体製造装置の受注回復を予想しており、主力のモビリティ関連サービスが好調であること、注力するロボット関連についても新規開拓をすすめていることから、2024年2月14日に公表した2024年12月期の連結業績予想を据え置いております。

以上